

2008年6月より、日本ジェイムズ・ジョイス協会事務局は新体制でスタートしました。今回は新事務局からの最初の Newsletter となります。(レイアウトも一新してみました。)後述のとおりホームページもリニューアルしましたので御覧ください。

#### Topics

- *Joycean Japan* 第20号 投稿のご案内
- 2009年6月の第21回研究大会について(研究発表者募集)
- ホームページ renewal のお知らせ
- コラム: “Re-Nascent Joyce” から “Glocalizing Joyce” へ (伊東栄志郎)
- 事務局情報

## Joycean Japan 第20号 投稿のご案内

例年通り、査読対象論文の投稿締切は11月30日(消印有効)となっております。第20回大会で口頭発表された方々はもちろんのことながら、それ以外の会員からの投稿も受け付けております。

#### 論文投稿規程

1. 投稿資格は、会費を納入している会員が有する。
2. 字数・書式。日本語の場合、14,000字以内(タイトル・註などを含む)。英語の場合、半角で28,000ストローク以内(タイトル・註などを含む)。双方とも、半角で2,400ストローク以内の英文サマリーを添付のこと。  
書式は、『MLA 英語論文の手引き』(北星堂)の最新版に基づくことを原則とする。
3. 11月末日までに、事務局に郵送すること(当日消印有効)。添付ファイルによる提出は認めない。なお、デジタル情報(フロッピーなど)を同時に提出する必要はないが、採用された論文については、後日提出が求められる。
4. 著者校正は初校のみとする。

なお、第20回大会の「シンポジウム」および「『フィネガンズ・ウェイク』ワークショップ」で発表されたみなさんの報告原稿は、原則12月31日(消印有効)を締め切りとさせていただきます。それぞれのオーガナイザーには、原稿の取り纏めをお願いいたします。(ご質問は事務局までお願いします。)

## 2009年6月の第21回研究大会について

第21回大会は、京都府立大学を会場として開催いたします。現在予定しているプログラムは以下のとおりです。

また、研究発表者 を募集しています。ふるってご応募ください。発表を希望される方は、A4一枚程度の発表要旨を添付のうえ、12月末日までに事務局へご連絡ください。発表時間は20～25分、質疑応答は15分程度を予定しております。E-mailでの申し込みも受け付けております。

日時:2009年6月20日(土)

場所:京都府立大学

プログラム(予定):

1. 研究発表(2～3名)
2. 総会  
～ 昼休み ～
3. *Finnegans Wake* ワークショップ (司会: 横内一雄)
4. シンポジウム—— *A Portrait of the Artist as a Young Man* 再読  
(パネリスト: 戸田勉 [司会]、中尾真理、金井嘉彦、吉田宏予)

\* 京都のホテル情報については、前回の Newsletter(2008年7月発行)をご覧ください。  
以下の新ホームページでも閲覧できます。

## ホームページ renewalのお知らせ

\* この夏、ホームページを新たなサイトに設けました。容量が格段に増えましたので、*Joycean Japan* の目次も全号掲載しております。

<http://www.joycesocietyjapan.com/>

\* 以下の「入会案内」を掲載しました。

日本ジェイムズ・ジョイス協会に入会ご希望の方は、「氏名(フリガナ)」、「住所」、「所属(勤務先や所属大学院等、およびその住所)」、「e-mail アドレス」を明記のうえ、事務局宛、ハガキもしくは封書でお申し込みください。追って事務局より e-mail にて御連絡差し上げます。(最初からの e-mail による入会受付はおこなっておりません。)

\*「リンク先」としては、現在、「イアシル・ジャパン」、「Calliope」(高橋渡先生の HP)、「Atelier Aterui」(伊東栄志郎先生の HP)、「アイルランド大使館」をあげております。今後さらに増やして行きたいと考えておりますので、ジョイスやアイルランドに関連したホームページを運営されているかたで、リンクを希望されるかたは、ぜひ事務局宛 email で御連絡ください。

## コラム

### “Re-Nascent Joyce”から“Glocalizing Joyce”へ

伊東 栄志郎

第21回国際ジョイス学会“Re-Nascent Joyce”は、6月15～20日にフランス中部のトゥール(Tours)で開催された。ローマ時代から続く由緒ある都市で、第二次大戦中パリ陥落前の一時期フランス政府が移転した。ジョイスはトゥールを2度訪問している。1903年に当地へ旅行中、あるキオスクでEdouard Dujardinの*Les Lauriers sont coupés*を購入した。また、1923年には英国Bognor Regis等への家族旅行の帰りに一週間ほど滞在している。ジョイスはSaint Martin de Toursの生涯を詳細に調査してノートに記録したが、その成果は*Finnegans Wake*最終稿には僅かしか現れていない。

今回の発表者数は延べ230有余名で、アジアからの参加者は少数だったが、日本からは桑原俊明氏も参加された。参加者数の減少は、アメリカ経済の低迷とユーロ高による北米の若手研究者の参加数激減が主要因とされ、学会総会でも大きく取り上げられて、奨学金枠を広げる方針などが了承された。

初日の“Autour de la nouvelle traduction de *Ulysses*”と“Joyce avec Lacan”というラウンド・テーブルは質疑応答も含めてすべてフランス語で行われたため、私の拙い語学力ではよく理解出来なかった。もっとも、仏訳*Ulysses*1929年版と2004年版の比較は、第2日のパネルや他の翻訳関係パネルでも議論され、興味深く拝聴した。さすがにテキスト生成関連のパネルが多く、“Where did thots come from?” (*FW*597): Joyce's Library and Genetic Breakthroughs”というパネルはDirk Van Hulleが司会し、Geert Lernoutなど著名な学者たちがコンピュータ画面でアプローチや分析の方法などを示してくれた。もう一方の学会テーマ、ジョイスとルネサンスのパネルは不調であったが、Balzac、Dumas、Flaubertなど19世紀仏小説やProustとの比較パネルは盛り上がり、注目の若手Finn Fordhamの活躍が目立った。ただ、かくも楽しきジョイス作品を偏狭な批評理論枠にはめただけの幾つかの発表にはうんざりさせられた。Daniel Ferrerなど多くの学者を育てたHélène Cixousの“Re-Tours: Let us return to our starting point”と題した「講演」が最終日にあったが、内容の薄い質疑応答形式で、むしろ本人不在の“JoyCixous”のパネルの方が勉強になった。最後の晚餐は近郊のアンボワース城(Amboise:レオナルド・ダ・ヴィンチ終焉の地)で頂き、御馳走の合間にはFritz Sennの長年の功績に対する特別表彰もあった。表彰式でのSenn氏の

不機嫌な顔に奇妙な親しみを覚えた。

2009年6月の北米ジョイス学会はニューヨークのBuffalo大学で開催(HP参照:<http://english.buffalo.edu/jamesjoyce/>)、第22回国際ジョイス学会は2010年プラハ、第23回は2012年ダブリンでの開催がすでに決定している。

また、9月27日には韓国ソウル市のSungkyunkwan大学でThe 2008 Seoul Conference on James Joyce: “Glocalizing Joyce: East Asian & Other Perspectives”が開催され、特別招待のRichard Brownほか東アジアの研究者が多数参加する。台湾のジョイス研究新刊本やベトナム語訳ジョイスが話題である。



伊東栄志郎先生からは右記の学会のご案内も頂いております。詳細をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

THE SECOND JJIF JAMES JOYCE GRADUATE CONFERENCE  
James Joyce: Metamorphosis and Rewriting  
Rome, Italy  
February 2-3, 2009



## 事務局情報

6月からの事務局員は以下のメンバーです。今後ともどうぞよろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

吉川信(常任委員・事務局長)、戸田勉(常任委員)、浅井学(常任委員)、  
須川いずみ(会計)、桃尾美佳(Newspaper 編集)、小田井勝彦(ホームページ編集)

住所変更をされてこの Newsletter が転送で届いた方は、お手数ですが下記事務局宛にお知らせください。(e-mail 可)



### 日本ジェイムズ・ジョイス協会 事務局

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

群馬大学教育学部

吉川信研究室内

メールアドレス: sean\_jjsj\_since08june(at)ybb.ne.jp

ゆうちょ銀行 口座番号: 記号 10430 番号 1854541

(名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会)